

平成 23 年 4 月 21 日

バングラデシュ人たちから被災地への義援金

～わたしたちも一緒にがんばります～

豊島区へ義援金を託す在日のバングラデシュの人たち



本日、在日バングラデシュ人たちから、東日本大震災被災地への義援金が、豊島区へ託された。

平成 12 年から毎年 4 月、区内の池袋西口公園では、日本で暮らすバングラデシュ人たちの手でベンガル暦のお正月を祝う祭り「ボイシャキメラ」が開催されている。今回の義援金は、今月 17 日に開催された今年の同祭りの会場で集められたもので、総額は 1,000,000 円となった。

豊島区とバングラデシュは、「ボイシャキメラ」の開催を契機として交流が始まり、平成 17 年には同人民共和国政府から首都ダッカにあるモニュメント「ショヒドミナル」のレプリカが寄贈され、毎年祭り会場となる区立池袋西口公園内に設置されている。

バングラデシュ人らによって集められた義援金は、日頃から交流のある豊島区を通じ、被災地へ届けて欲しいと、祭り会場で、在日本大使をはじめとする参加者たちが書いたメッセージカード、子どもたちが折った千羽鶴とともに豊島区へ手渡された。

義援金を届けた祭り実行委員たちは「もう人生の半分以上を暮らしている日本が大好きです。大好きな日本のために役に立ちたい」「帰国する外国人もいるが私たちは逃げない。一緒にがんばります」と話していた。

祭り会場の風景 1



祭り会場の風景 2

